



The Star in the West

東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISH(03)3 202-0342

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER, 2-18-12 NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO 169-0051, JAPAN

国際会長主題 「信念、愛、行動」
アジア会長主題 「信念と愛を持って行動しよう」
東日本区理事主題 「ワイズのらしさ再発見」
あずさ部部長主題 「垣根を低くし、活発な活動を」
東京西クラブ会長主題 「居心地の良いクラブでワイズライフを楽しもう」

2025 年 8 月号

NO 587

あなたがたの中の戦いや争いは、どこから起こるのですか。あなたがたの体の中でうごめく欲望から起こるのではありませんか。

ヤコブの手紙 第4章1節

アジア地域大会で西連合大交流会に参加

神谷 幸男

ヘキサゴン DBC と、そのクラブの台湾にある IBC とが一堂に会して大交流会を第 31 回アジア太平洋地域大会の折に開催しようではないかとの画期的なイベントが開催されました。知恵のある人の発想から 3 回程の準備会を開いて実現しました。

時は地域大会終了後の 8 月 3 日の 12:00~15:00、会場は大会会場の近くのダイニングバー。参加者数は約 13 クラブ 60 人程で会場狭しと満杯でした。

会の流れは岩本悟さん（熊本にし・元西日本区理事）の司会で最後まで会を盛り立ててくださいました。森田恵三・西連合代表の開会あいさつ、乾杯の音頭は和服姿の中野かおるさん、喉を潤したところで参加者の紹介。各クラブの代表者が各人の名前とエピソード

を交えての紹介。東京西クラブは神谷が高嶋さん、村野さんご夫妻を紹介しました。あまり気の利いた言葉もなくもう少し上手くやれたらいいのになと反省しました。

全員の紹介の後は、クラブのアピールなど三々五々登壇して賑やかなひと時を過ごしました。座席が L 字型で若干死角がありましたが、私としてはあまり席を立たず個々の対話もしなかった方もありましたので交流としては減点だったかもしれませんが。最後はこれも賑やかにジャンケンゲーム。周りの賑やかさと難聴のせいでルールが十分にわからぬまま参加。結果は清水論さん（大阪西）が優勝。賞金 5,800 円は RBM 献金として国際に寄付されました。

閉会挨拶は清水論さんをお願いしてお開きになりました。若いメンバーが逞しく育っていること実感しました。

—エクスカッション体験記— コース 5（熊本城ホール 4 F）

熊本 YMCA ユース挨拶の後、川崎、山梨、熊本、盛岡、せとうち各 YMCA のユース活動紹介ビデオ視聴した。人権に配慮している活動に特に感動を覚えた。その後、熊本 YMCA ユース担当者のネパール開催 AYC 参加報告があった。

◇RBM のお話とバンジョー演奏

◇ワイズミュージックフェスは、3 グループが出演。2 人の友人が出演するというので誘われて視聴した。

クラブ役員

会長 神谷 幸男
副会長 本川 悦子
書記 村野 繁
会計 篠原 文恵
担当主事 波々壁 賢

7 月の記録

在籍者数	11人	武蔵野多摩	2人	ニコニコ	10,100 円
出席者数	11人	たんぽぽ	4人	クラブファンド	0 円
メーキャップ	0人	ビジター	2人	ファンド残高	44,715 円
出席率	100%	ゲスト	2人	ホテ校ファンド	5,690 円
ZOOM 参加	1人	出席者合計	21人	ホテ校残高	6,023 円

8月合同納涼例会のご案内

強調テーマ：

暦が作られた時代の自然現象はどうだったのでしょうか。それにしてもこの夏の厳しさには難儀します。

8月例会はこの暑さを吹き飛ばす、しかも場所は新宿副都心での納涼例会です。気の合った仲間が集まって、飲んで駄弁って元気を養いましょう。

日時：8月30日(第5土) 12:30～

会場：銀座ライオン新宿エルタワー店

新宿区西新宿 1-6-1 新宿エルタワー B2F

TEL 03-3343-3636

会費：5,000円

HAPPY BIRTHDAY

4日 篠原 文恵 中村 吉孝

13日 神谷 幸男 15日 本川 章

受付 篠原・服部・山口

開会点鐘 東京多摩武蔵野クラブ会長 渡辺大輔

プログラムは未定ですが、暑さに苦しんだ夏を乗り越えた乾杯から始まります。



閉会点鐘 東京たんぼぼクラブ会長 藤江喜美子

ー7月事務会報告ー

日時：7月24日(木)

16:30～17:55

会場：阿佐谷地域区民センター

出席者：石井、大野、神谷、
河原崎、篠原、本川、
村野絢、村野繁

<報告事項>

◇7月例会報告・会計報告 承認

◇8月3日のIBC・DBC大交流会
準備状況説明

<協議事項>

◇ブリテン編集者について再確認

奇数月…篠原 偶数月…神谷

◇8月号の編集について…省略

◇例会企画について…省略
(神谷幸男)

2025-26年度

第1回あずさ部評議会

今年度から評議会等の部の集会の持ち方が今までと少々変わり、今回は評議会と、従来の部大会に相当する集会が「あずさの集い」なる名称で内容も変わり両集会が同日(2025年7月26日(土))に開催されたので合わせて概要を報告します。

◇10:30～11:00 オープニングセ



あずさ部第1回評議会は54人が出席

レモニー

東京 YMCA 高等学院生徒による
トーンチャイム演奏と同学院の説明

◇11:00～12:20 評議会

開会式に続いて評議会・議案審議、

第一号議案「2024-2025 年度会計報告・監事報告」

第二号議案「次々期(2027-28)部長クラブ推薦の件(東京サンライズクラブ承認・可決)」

第三号議案「監事選出方法の件」(直前部長が監事となる)審議の結果、原案通り承認・可決した。

続いて諸報告(部役員紹介、クラブ会長方針報告、区大会アピール)。閉会式の後、集合写真を撮

して評議会終了。

◆あずさの集い 13:00～15:00

会場を近くの中華料理店「中華三国志」に移動して開催(会場にちょっとしたトラブルがあつて2か所に分散開催となった)。

直前部長のピーターさん(甲府)の乾杯の音頭で開演。以下、参加者紹介、区キャビネット2人(区書記・榎本博さん、区副書記・金子正樹さん)による報告他、アピール、監事講評、ホストクラブ会長小山久恵さん(東京サンライズ)の閉会の辞(感謝の言葉)をもって定刻に終了した。

当クラブ出席者：石井、神谷、河原崎、篠原、本川、村野絢、村野繁
(神谷幸男)



右写真はアジア太平洋地域大会で
東日本区チームの「花は咲く」
左写真は7月合同例会



ー 7 月合同例会報告ー

7 月 17 日 [木] 18 : 30 ~ 21 :

30 東京山手センターにて、東京武蔵野多摩、東京たんぽぼとの25-26 年度初回の合同例会を持ちました。新年度から、会食はプログラムの中で頂くことになり、当番の当クラブ・神谷会長の点鐘から始まり、東京たんぽぼクラブの会長が交代して藤江喜美子さんが就任したことの報告がありました。当クラブ担当主事・波々壁さんの入会式が山口直樹・あずさ部部長の司式で行われました。

その後、ホテ校留学生奨学金贈呈式が神谷会長より行われ、留学生ミャンマー出身のメイ・モー・ティリ・サンさんからスピーチがありました。次に会食です。

卓話は、40 年前当クラブの担当主事で現在は千葉ウエストクラブの佐藤健さんから 50 日間の東日本大震災の被災地徒歩旅行の話を聞きました。ハッピーバースデー、ワイズ報告、YMCA 報告、ニコニコと進み渡辺大輔・東京武蔵野多摩クラブ会長の閉会点鐘で終わりました。(村野繁)

出席者：＜メンバー＞山口・渡辺（東京武蔵野多摩）、藤江・小原・服部・望月（東京たんぽぼ）、石井・大野・神谷・河原崎・篠原・高嶋・本川・村野絢・村野繁・吉田・波々壁（東京西）、＜ビジター＞佐藤健（卓話・千葉ウエスト）、樋口順英（東京グリーン）、＜ゲスト＞ティリ・サン（国際ホテル専門学校生）、田附和久（東日本区担当主事）、＜ZOOM＞宮内（東京武蔵野多摩）

第31回 アジア太平洋地域大会

日時：2025 年 8 月 1 日～3 日

会場：熊本城ホール

懇親会：ホテル日航熊本

1 日目プログラム（抜粋）

◇パフォーマンス

◇開会式

◇国際会長、地域会長就任式

◇基調講演

◇アジア太平洋地域報告

◇IBC 締結式

◇IPAP Night

宴会、バランタイン賞授与式、国際会長表彰他

2 日目プログラム（抜粋）

エクスカーション 8:00~15:15

◇コース 1 阿蘇方面へ

◇コース 2 八千代座方面へ

◇コース 3 通潤橋方面へ

◇コース 4 熊本城方面へ

◇コース 5 ミュージックフェスティバルその他

◇AP Night 17:00~20:00

第 3 日目プログラム（抜粋）

◇日曜礼拝

◇ISG 報告、AYC 報告

◇AYC 参加者終了証授与

◇プロモーション

2026 年国際大会（ドバイ）

2027 年アジア太平洋大会

◇閉会式

参加者（参加者リスト）はゲスト（他地域）31 人、西日本区 420 人、東日本区 90 人、台湾 68 人、その他 68 人、合計 646 人でした。

IBC 台北セントラルクラブからは Mark Lin お一人、Austin Lin の姿は見られませんでした。

(神谷幸男)

熊本のおもてなしを楽しんだ 3 日間

8 月 1 日、空港からホールへ直行。賑やかに挨拶をしながら会場入りの後、和紙で作られた金灯籠を載せた地元高校生による幻想的な踊りに魅せられ、次は勇壮な太鼓演奏、全国大会でも名を馳せたとの打ち込みに会場は又も感動の拍手で開会式を待ちました。国際大会らしく進行は英語なので途中から同時通訳イヤホン借りる。

国際会長、アジア太平洋地域会長の就任式、基調講演などのプログラムを経て、夜は懇親会に向けて各自が浴衣など民族衣装に着替えて参加。舞台での華やかなパフォーマンスを観ながらフルコースのご馳走を堪能しました。

皆様有難うございました。

(篠原文恵)

熊本おもてまん

2 日目の懇親会で、熊本のおてもまん踊りを楽しみました。

懇親会が終わって外に出たら丁度開催中の「火の国の祭り」のメインイベント、おてもまん総おどりが繰り広げられていました。それぞれの地域、学校、企業などの団体数千人が衣裳や踊りに趣向を凝らして町中を練り歩いていました。沿道から観客が声をかけると、それに応えて目の前に来て踊って、また観客も歓声を上げ返して盛り上がりました。

懇親会では踊り手、お祭りでは観る方でしたが踊るのも観るのも興奮した熊本“おてもまん”の踊りでした。(本川悦子)

日々の中から 帳尻あった、熊本迷い旅 村野絢子

先の東日本区大会での帰りいくつもの荷物をまとめようと宇都宮駅で容量30ℓの保冷キャリカートを買った。表はナイロン製、内側アルミシート張りで使い勝手が良い。夫のバッグを乗せ運ぶのは夫、ストックで手のふさがった私は軽いリュックで羽田到着、チェックインするゲートで、東京グリーンクラブの青木・村杉さんにお会いしほっとした。次の瞬間お二人は左に、夫は右に向かう「左じゃないの?」「同じ時間に出る飛行機もあるよ」。この時チケットを自分で持っていればよかったが後の祭り、目指すゲートに飛行機はいなく、案内所で聞くとチケットを見て、「この便は間もなく出発するので、電話で待っていてもらうので、急いでくだ

さい、車が待っています」。夫の思い込みでチケットをよく見ておらず出発を15分遅らせた。

大会はとてもスマートに進み、「西連合ペンタゴン」では熊本弁の乾杯「いやさか」を覚え、大会は終わった。

翌4日は新幹線で、宇治に向かった。和泉教会の前牧師を訪ねる約束をしていた。大阪で京都奈良線に乗り換えて宇治に着くのだが、夫が大阪駅で乗り場を調べに行ったら戻ってこない。見失わないように目で追っていたが、人込みで見失った。駅員に聞き、ホームにきた電車に乗ったが、夫はいない。次の京都で降りベンチで待つ。やっと携帯で大阪駅のエレベーターで待っていたことが分かり、次の電車で京都駅で落ち合った。4駅先の宇治で降り、タクシーで目印の場所に向かうと5・6分、あっという間に先生の姿が見えた。お宅で喜美子さんが待つ

ていて下さった。3年ぶりにお会いしたお二人は、水にあった魚のように、協力牧師として宇治教会で2ヵ月に1回礼拝説教をし、木工の仕事も料亭などからの注文に応じ、自宅の工場で製作、そのほか果樹の手入れを頼まれ、自家用野菜作りと生き活きと生活されているお話を聞いた。

京都駅のベンチで外国の婦人が“*What happen?*”と心配してくれたので“*little confuse bat no problem thank you*”と別れた。



写真上はアジア大会での山鹿灯籠踊り、下は太鼓演奏。それぞれ熊本ならではの伝統芸能を鑑賞できました

YMCA Today

■ホテル学校では、希望者が参加するリゾートホテル実習が8月19日まで行われています。また、8月の最終週に行う野尻湖スポーツ合宿では、水上アクティビティを楽しむと同時に、4日間の活動の中で仲間の大切さに気付き、チームワークを身につけてもらうのが目標です。

そして、9月からは1年生全員が参加するホテル実習がスタートします。約6ヶ月間の長期間に向け、これまで基礎学習でホテル理解を深める他に、チームワークの大切さも伝えてきました。初めての社会人経験も仲間で乗り越え、様々な経験を通して新しい発見や目標を見つける良い機会になることを願っています。

■6月26日、日本YMCA同盟主催で「世界のYMCAの今とVision2030」をテーマにした研修会が山手コミュニティセンターにて開催されました。世界

YMCA Vision2030 推進責任者のラズバン・サス氏を講師に迎えました。

また、6月25日には世界YMCA同盟総主事のカルロス・サンヴィー氏とラズバン・サス氏が東京YMCAを訪問し、星野総主事およびスタッフと対談を行いました。

■6月27日、ウクライナYMCAのビクター・セルブロフ総主事の来日記念報告会が山手コミュニティセンターにて開催、他YMCA関係者も含め参加。ウクライナの現状や戦禍におけるウクライナYMCAの活動、東京YMCAからの募金で実現したキャンプの様子などについてお話いただいた。

■6月29日～7月3日、大阪YMCAがホストを担い、YMCA世界大都市会議(YWUN)が大阪にて開催。世界31か国から総主事やCEOを中心に約70人が参加、「Transformation」をテーマに、様々なプログラムが持たれま

した。会議の中で星野総主事が東京YMCAの能登半島災害復興支援活動についてプレゼンテーションを行いました。

担当主事 波々壁 賢

編集後記

いつものことながら、原稿をお寄せくださった方々に感謝します。8月になると広島、長崎、原爆、敗戦、平和等々にまつわる記事がメディアを賑わせます。敗戦80年も経つと当時を体験した人が加速度的に少なくなり、これらの記憶・体験記録そして周知の大切さは年々増してきます。ワイズの世界では国際的な集会にまつわる記事が溢れます。今年は特にアジア太平洋市域大会が日本、熊本で開催されましたのでこの関係記事が目立ちました。

記事にはなりませんでしたが、久しぶりに会ったMark Linさんとの交流、現況と思い出話に時間を多く費やしました。(SK)